

平成 30 年度

施設名（愛称名）

下田市寝姿山自然公園

番号

83

平成 30 年度

施設評価調書

施設の名称……寝姿山自然公園

所管担当課……産業振興課

平成 30 年 7 月

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市寝姿山自然公園	番号	83
----------	----------	------------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設 置 目 的	市民の健全な憩いの場として、寝姿山のすぐれた自然環境を活用するため
目 的 達 成 度 の 評 価 基 準	すぐれた自然環境の活用を図ることが困難であり、利用者数を目標値とすることが適当と考えられるが、本公園は無料施設であり、使用届の提出を必要としない自由使用施設となっているため、現在目標値とすべき統計数値がない。

2 現状分析(Check)

運 営 事 業 の 意 義 と 現 状	市民の健全な憩いの場として、寝姿山のすぐれた自然環境を活用するため、現在の自然環境を保護・管理していく。
------------------------	--

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		28 年度値	29 年度目標値	29 年度実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等					
	B 年間経費 (除く収入)	2,708,707 円	2,930,320 円	11,606,812 円	428.5%	396.0%
	B / A					
効率性指標の考え方等		総利用者数と年間にかかる経費の割合を比較することで効率性を計るべきだが、当施設は利用者に対する統計的な数値がなく、年間経費での比較が唯一の指標となる。				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	自然公園の設置目的を達成するために今以上の維持管理費が必要であるが、最小限の経費による運営努力をしている。
----------------	---

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	下田ロープウェイと連携を図り市民の利用と観光利用に貢献していきたい。		
H28 年度効率性 の 目 標 値	①□ 年間経費	2,930,320 円	H30 予算額

運営に掛 かる税負 担 (市民負担)	年度		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度（予算）
	人口（4 月 1 日：人）		23,444	22,938	22,477	21,937
	人口 1 人あ たり（円/ 人）	運営経費（収入除 く）	126	118	516	134
		年間総経費	126	118	516	134

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市寝姿山自然公園	番号	83
----------	----------	------------	----	----

施設修繕計画及び備品購入計画

破損 年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
※今後想定される維持管理事項 自然を利用した公園として、林道の未舗装部分等の整備状況の評価が分かれるところであるが、今後は舗装を含めた整備を検討していく。				

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	寝姿山公園や林道での散策など設置目的に沿った利用がされており、自然環境に対する幅広い市民ニーズに応えるため、今後も本施設を現状のまま維持していく必要がある。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	本自然公園は自然散策等が主流である無料施設であるため、民間の経営は難しい。第 4 次総合計画の中で謳われている自然公園は自生植物や自然景観を活用し、市民の健全な憩いの場として利用される公園として、今後も行政の関与が必要である。
施設の管理運営と経費の妥当性	建築物がないため維持経費の負担も多くない。無料施設であるが、市民のコミュニティ活動の場として利用を図りそこから収入を生み出していくことも今後検討していく必要がある。
施設の性質や実費経費からみた 受益者負担の妥当性	現状自然を利用した公園であり、受益者負担をお願いしていく施設ではない。今後は受益者負担として金銭負担、人的負担の協力が得られるか検討していきたい。
その他の管理運営上の課題	自然を利用した公園であるが、林道の未舗装部分等の整備状況の評価が分かれる。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	保健休養林爪木崎自然公園があるが設置場所や設置目的が異なるため利用者等で競合しない。

施 設 の 概 要

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市寝姿山自然公園	番号	83
----------	----------	------------	----	----

1 施設名 (愛称名)	下田市寝姿山自然公園		2 担当課 担当係	産業振興課 施設係		
3 所在地	下田市柿崎字三笠山 1279 番地の1		4 設置年月	平成 2 年 4 月 1 日		
5 総合計画の 位置付け	I 美しいまちづくり		2 身近な生活環境づくり		3 公園	
	基 本 目 標		市民が安心して楽しむことのできる憩いの場を創出します。			
	基本目標を実現 するための施策		項目 自然公園の整備		内容	
6 設置目的	市民の健全な憩いの場として、寝姿山のすぐれた自然環境を活用するため					
7 設置根拠	下田市寝姿山自然公園設置管理条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 130,000 m ²				
		駐車場 遊歩道 自然公園				
	実 施 事 業 の 概 要	平成28年度事業概要 園内の修景整備・下刈りの実施 担当課は総務課庶務係業務担当				
	料 金 体 系	料金区分	無料利用施設			
		利用料金制度	☐ 有 ☒ 無			
	施 設 運 営 方 法	☐ 直接運営				
		☐ 指定管理者制度 →	指定管理者			
☐ 一部委託 →		委託内容				
直接従事職員	下田市職員数 平成 29 年度 臨時職員 1 人(総務課庶務係業務担当)					
9 市 内 の 類似施設	下田市所有	都市公園9施設、爪木崎自然公園				
	民間所有					
10 取得費等 の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 28 年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 円 ・ 新設翌年度か ら償却 ・ 耐用年数 年	
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費		建物減価償却後残高			
	財源内訳	90,000,000				
	国・県支出金	43,254,000				
	市債		市債残高	0		
	一般財源	46,746,000				
	寄附金等					
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費 等推移 (単位：円)	区 分		H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度決算	H30 年度予算
	収入		0	0	0	0
	収 入 合 計		0	0	0	0
	支出	7 節 賃金	2,198,623	2,024,627	8,880,717	2,191,920
		11 節 需用費	259,143	232,080	1,006,923	267,840
		12 節 役務費	62,689	57,842	139,924	74,400
		13 節 委託費	369,930	369,930	1,549,908	378,960
		14 節 使用料及び 賃借料	0	0	0	240
		15 節 工事請負費	0	0	0	0
		16 節 原材料費	46,332	23,436	0	25,000
		18 節 備品購入費	22,080	0	19,440	0
		22 節 補償補填及 び賠償金	0	0	0	0
		27 節 公課費	1,584	792	9,900	960
	支出合計		2,960,381	2,708,707	11,606,812	2,939,320

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田市寝姿山自然公園	番号	83
----------	----------	------------	----	----

	減価償却費				
	市債利子				
	職員人件費				
	下田市負担年間総経費	2,960,381	2,708,707	11,606,812	2,939,320
	備考				

（参考資料）